

令和8年度 学生募集要項 入学案内

(出願書類添付)



区 分	推 薦 選 抜	学 力 選 抜	帰国生徒特別学力選抜
[受験生] WEB 出願受付期間	令和7年12月 8日(月) ～ 12月19日(金)	令和8年1月 5日(月) ～ 1月19日(月)	令和7年12月 1日(月) ～令和8年 1月15日(木)
[中学校] 出 願 書 類 受 付 期 間	令和7年12月15日(月) ～ 12月19日(金)	令和8年1月13日(火) ～ 1月19日(月)	令和7年12月17日(水) ～令和8年 1月15日(木)
検 査 日	令和8年1月10日(土) [追加の選抜：1月17日(土)]	令和8年2月8日(日) [追試験：2月15日(日)]	
合格内定者発表	令和8年1月23日(金)		
合 格 者 発 表	令和8年2月20日(金)		
入学意思確認書 提 出 期 限	令和8年1月30日(金)	令和8年2月27日(金)	
合格者出校日	令和8年3月4日(水)		
検 査 会 場	都 城 高 専		

独立行政法人 国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校

〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473番地の1
T E L (0986)47-1132 (学生課)
F A X (0986)47-1143 (学生課)
メールアドレス g-hosa@jim.miyakonojo-nct.ac.jp (学生課)
ホームページアドレス <https://www.miyakonojo-nct.ac.jp/>

目 次

〈学生募集要項〉

I. 募 集 人 員	1
II. 入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）	1
II - A 推薦による入学者の選抜	
1. 出 願 資 格	3
2. 出 願 手 続	3
3. 選 抜 の 方 法	5
4. 合格内定者の発表	6
5. 入学意思確認書の提出	6
6. 推薦選抜の結果、合格内定とならなかった者の学力検査の受験	6
7. 受験上の注意	6
8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	7
II - B 学力検査による入学者の選抜	
1. 出 願 資 格	8
2. 出 願 手 続	8
3. 選 抜 の 方 法	10
4. 受験上の注意	10
5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	11
6. 学力検査におけるマークシート方式の導入について	11
7. 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について	11
II - C 帰国生徒特別学力選抜	
1. 出 願 資 格	12
2. 出 願 手 続	12
3. 選 抜 の 方 法	14
4. 受験上の注意	14
5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	14
6. 帰国生徒特別学力選抜での学力検査におけるマークシート方式の導入について	14
III. 共通事項	
1. 合格者の発表	15
2. 合格者出校日	15
3. 追 加 合 格	15
4. 学力検査による入学者の選抜を受験した者の入試成績の開示	15
5. 検定料についての注記	16
6. 災害により被災したことによる入学志願者の検定料免除について	16
7. 募集要項の請求	16
8. WEB 出願について	17

〈入学案内〉

1. 創 立	21
2. 目 的	21
3. 都城工業高等専門学校 本科の三つの方針	21
4. 修業年限・学科等	23
5. 卒業生の称号	23
6. 教 育 課 程	24
7. 入学時に要する諸経費	24
8. 入学料免除制度、就学支援金制度、授業料免除（減免）制度	24
9. 奨 学 金 制 度	24
10. 学 生 寮	25
11. 課 外 活 動	25
12. 卒業後の進路	25
13. 検査会場案内図	27

〈添付用紙等〉

- ◎ 調 査 書
- ◎ 推薦書（推薦選抜志願者用）
- ◎ 帰国生徒特別学力選抜海外在住状況説明書
- ◎ 追試験受験申請書（様式1、様式2）
- ◎ あて名票（中学校用、本人用）※全員提出してください。

令和8年度 学生募集要項

I. 募集人員

学 科	募集人員	備 考
機 械 工 学 科	40人	① 各学科とも募集人員の60%は、推薦による選抜とします。なお、推薦選抜において追加の選抜を実施する場合、60%を超えることがあります。 ② 帰国生徒特別学力選抜の募集人員は、各学科とも若干名とします。
電気情報工学科	40人	
物 質 工 学 科	40人	
建 築 学 科	40人	
計	160人	

II. 入学者受け入れ方針(アドミッションポリシー)

II-1 求める学生像

本校は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す能力を持った学生を育成するために、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を実施する。この教育を受けるに相応しい人材を以下に示す。

- (1) 様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力がある人
- (2) 科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味がある人
- (3) 技術者として社会に役立ちたいと考えている人
- (4) 責任をもって継続的にものごとを実行できる人

II-2 入学者選抜の基本方針

II-1 に示す人材を確保するために、推薦選抜試験及び学力選抜試験を行う（本科入学）。

II-3 入学者の選抜方法

本科の入学者の選抜は、推薦選抜、学力検査による選抜、及び帰国生徒特別学力選抜の三つの方法で行う。

(1) 推薦による入学者の選抜(II-A)

様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力を備え、責任をもって継続的にものごとを実行できるかどうかは、中学校での調査書をもとに評価する。科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味を持ち技術者として社会に役立ちたいと考えているかどうかは、作文と面接により評価する。これらの評価を総合して合否判定を行う。なお、推薦入学志望学科は第1志望学科とし、各学科の定員の60%を募集人員（24人）とする。また、推薦基準は、中学校における9教科3年間5段階評価の内申点合計108以上とする。

(2) 学力検査による入学者の選抜(Ⅱ－B)

様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力を備え、責任をもって継続的にものごとを実行できるかどうかは、中学校での調査書をもとに評価する。また、総合的な基礎学力は学力検査でも評価する。科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味を持ち技術者として社会に役立ちたいと考えているかどうかは、面接により評価する。具体的には、4教科（理科、英語、数学、国語）の学力検査（各科目 100 点満点）の点数並びに面接の結果及び中学校における調査書を得点化したものにより総合的に合否判定を行う。なお、志望学科は、第 4 志望まで選択でき、各学科の第 2～4 志望での入学は、原則として各学科の定員の 40%以内とする。また、推薦選抜において合格者が 24 人に満たない場合は、その欠員分は学力検査による選抜の募集人員に加える。

(3) 帰国生徒特別学力選抜(Ⅱ－C)

様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力を備え、責任をもって継続的にものごとを実行できるかどうかは、中学校での調査書をもとに評価する。また、総合的な基礎学力は学力検査でも評価する。科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味を持ち技術者として社会に役立ちたいと考えているかどうかは、面接により評価する。具体的には、3教科（理科、英語、数学）の学力検査（各科目 100 点満点）の点数並びに面接の結果及び中学校における調査書を得点化したものにより総合的に合否判定を行う。なお、帰国生徒特別学力選抜による募集人員は各学科とも若干名とする。

Ⅱ－A 推薦による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

以下の(1)から(4)のいずれかに該当する者で、(5)及び(6)の要件を満たし、在籍学校長が責任をもって推薦できる者とします。

- (1) 令和8年3月に中学校を卒業見込みの者
- (2) 令和8年3月に義務教育学校を卒業見込みの者
- (3) 令和8年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (4) 令和8年3月に文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該課程を修了見込みの者
- (5) 合格した場合は必ず入学する者
- (6) 在籍学校における3年間の9教科学業成績5段階評定の総計が108以上の者

※在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、令和7年11月21日(金)までに本校学生課（連絡先は、表紙に記載）に電話、電子メール、郵便等により照会してください。

2. 出 願 手 続

令和5年度入試からWEB出願となりました。WEB出願受付期間に本校ホームページから入力願います。詳細については、17ページの「8.WEB出願について」をご覧ください。

(1) WEB出願受付期間

令和7年12月8日(月)から12月19日(金)午後5時まで

(2) 出願書類受付

① 期 間 令和7年12月15日(月)から12月19日(金)まで

受付時間は、午前9時から午後5時まで

郵送の場合も、12月19日(金)(消印有効)とします。

※ 12月22日(月)に、各学科ごとの願書受付数を本校のホームページでお知らせします。

② 場 所 都城工業高等専門学校 学生課 〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473 番地の1

③ 志願者によるWEB出願

志願者は、WEB出願サイトへの入力及び検定料(16,500円)の納入を行い、WEB出願サイトから印刷した「写真票」及び募集要項にある「あて名票」を在籍学校へ提出してください。WEB出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(3)①に基づき、写真を貼り付けしたうえで、在籍学校へ提出してください。

④ 在籍学校長による出願書類の提出

在籍学校長は、(3)出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。手続きが全て完了すると、申込完了メールが志願者に届きますので、そのメール受信をもって出願手続きが完了となります。出願手続きを完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和7年12月23日（火）を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課まで問い合わせてください。

(3) 出願書類

在籍学校長は、推薦する生徒について①～④の書類等を提出してください。郵送する場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「推薦入学出願書類在中」と朱書してください。

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB 出願手続き完了後に発行される「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽、上半身の写真（縦4cm×横3cm。カラー可。）を所定の位置に貼ってください。
② 推 薦 書	本校所定の用紙又は電子書式に在籍学校長が作成してください。（電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。）
③ 調 査 書	本校所定の用紙又は電子書式に在籍学校長が作成してください。（電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。）
④ あ て 名 票 (シール台紙)	志願者本人及び出身中学校等の住所・郵便番号等を記入してください。 ※シール台紙2枚それぞれに3票とも記入願います。

※帰国生徒特別学力選抜の志願者が推薦選抜も受ける場合は、帰国生徒特別学力選抜の出願書類一式に上記②の推薦書を添えて提出してください。

学 習 成 績 一 覧 表	在籍学校長は、令和8年度公立高等学校入学者選抜実施要綱によって作成したものを1部提出してください。(A4判またはB4判) (本校志願者の番号に朱書で○印をつけてください。) 願書提出時に提出困難な場合は、1月27日(火)までに必着するよう提出してください。 なお、在籍学校所在地の都道府県において「学習成績一覧表」を作成していない場合は、提出の必要はありません。
---------------	--

※留意事項

- (1) **推薦入学志望学科は第1志望学科とします。**ただし、合格内定とならなかった場合に「学力検査による入学者の選抜」の受験のために、第2志望～第4志望まで入力することを認めます。
- (2) 書類の氏名は、住民票のとおり記入してください。
- (3) 出願書類受付後は、志望学科等の変更は認めません。なお、現住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- (4) 提出書類の不備なものは受け付けできません。また、提出書類に虚偽の記入があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

3. 選 抜 の 方 法

(1) 作文及び面接

① 日時及び会場

(ア) 日 時 (本選抜) **令和8年1月10日(土)**
(追加の選抜※) **令和8年1月17日(土)**

(イ) 会 場 都城工業高等専門学校

集合時刻については、本校で作文及び面接試験のグループ分けを行ったうえおって在籍学校長に通知します。

② 作文の課題は当日指定し、400字以内、時間は40分とします。

③ 面接は個人面接とし、志望動機と目標、勉学意欲、志望学科との適性及び受け入れ方針との適合性等について評価します。

(2) 調査書

調査書は、能力、適性を評価するための基礎資料として活用します。

(3) 合否判定は、1ページのⅡ－3(1)を参照してください。

※追加の選抜の実施

(追加の選抜の受験要件等)

(1) 次に掲げる者を対象に追加の選抜を実施する。

ア 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号。)第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本選抜を受験できない者

イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追加の選抜の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者

(2) (1)アに示す本試験を受験できない事由は、中学校等の長又は医療機関による証明等(様式1又は様式2)により、校長が確認するものとする。(提出期限：令和8年1月14日(水)(必着))

(3) (2)の事由により本試験を受験できない期間については、学校保健安全法施行規則第十九条に定める「出席停止の期間の基準」を原則とする。

4. 合格内定者の発表

(1) 日 時

令和8年1月23日（金）午前10時（追加の選抜を含む）

(2) 方法等

合格内定者の受験番号を本校学生課前の掲示板に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。

併せて、在籍学校長宛に合格内定通知書等を発送します。

なお、電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

5. 入学意思確認書の提出

合格内定の通知を受けた者は、**令和8年1月30日（金）午後5時（「追加の選抜」を含む）**までに入学意思確認書を提出してください。**入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。**

6. 選抜の結果、合格内定とならなかった者の学力検査の受験

「推薦選抜」の結果、合格内定とならなかった者は、**学力検査による入学志願者として取り扱います。この場合は、あらためて出願手続き（検定料の納付を含む）の必要はありません。**学力検査当日は、推薦選抜受験時の受験票で受験してください。

ただし、当該受験を辞退しようとする者は、在籍学校長を通じて受験辞退届（A4判・書式任意）を提出してください。

※志望学科を変更せずに受験する場合は、WEB出願の再入力及び検定料の再納入の必要はありませんが、志望学科を変更して受験する場合は、改めて、学力検査「再出願」のWEB出願の再入力及び検定料の再納入が必要となります。（再入力・再納入期間：令和8年1月23日（金）から1月30日（金）まで）

7. 受験上の注意

- (1) 検査当日は、おって在籍学校長宛てに通知する時刻までに本校に集合してください。
- (2) 受験者は、受験票、筆記道具（鉛筆等）を持参してください。
- (3) 受験のため宿泊が必要な者は各自で確保してください。
- (4) 検査会場内では、上履きは必要ありません。

8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

都城工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和7年11月19日（水）17時を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1）障害者手帳の種別・等級・区分認定、2）適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3）標準化された心理検査等の結果、4）専門家の所見、5）中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6）本人が自らの障がいの状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課 （電話番号） 0986-47-1132

（FAX） 0986-47-1143 （MAIL） g-hosa@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

Ⅱ－B 学力検査による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校を卒業した者又は令和8年3月に中学校を卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業した者又は令和8年3月に義務教育学校を卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和8年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (4) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者
 - ① 外国において学校教育における9年間の課程を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者
 - ② 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該課程を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者
 - ③ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年6月18日文部省告示第58号）
 - ④ 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
 - ⑤ その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、令和7年12月1日（月）までに本校学生課（連絡先は表紙に記載）に電話、電子メール、郵便等により照会してください。

2. 出 願 手 続

令和5年度入試からWEB出願となりました。WEB出願受付期間に本校ホームページから入力願います。詳細については、17ページの「8.WEB出願について」をご覧ください。

(1) WEB出願受付期間

令和8年1月5日(月)から1月19日(月)午後5時まで

(2) 出願書類受付

- ① 期 間 令和8年1月13日(火)から1月19日(月)まで

受付時間は、午前9時から午後5時まで

郵送の場合も、1月19日(月) (消印有効)とします。

※ 1月15日(木)から、各学科ごとに願書受付数(帰国生徒は内数)を本校のホームページでお知らせします。

- ② 場 所 都城工業高等専門学校 学生課
〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473番地の1

③ 志願者によるWEB出願

志願者は、WEB 出願サイトへの入力及び検定料（16,500 円）の納入を行い、WEB 出願サイトから印刷した「写真票」及び募集要項にある「あて名票」を在籍（出身）学校へ提出してください。WEB 出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(3)①に基づき、写真を貼り付けしたうえで、在籍（出身）学校へ提出してください。

④ 在籍(出身)学校長による出願書類の提出

在籍（出身）学校長は、(3)出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。手続きが全て完了すると、申込完了メールが志願者に届きますので、そのメール受信をもって出願手続きが完了となります。出願手続きを完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和8年1月23日(金)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課まで問い合わせてください。

(3) 出願書類

出願は、次の書類を①～③の順にそろえ、**在籍（出身）学校長が一括して提出してください。**ただし、「1.出願資格」(4)の①③④⑤に該当する者は、各自提出してください。

郵送する場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「学力入学出願書類在中」と朱書してください。

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB 出願手続き完了後に発行される「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽、上半身の写真（縦4cm×横3cm。カラー可。）を所定の位置に貼ってください。
② 調 査 書	本校所定の用紙又は電子書式に在籍(出身)学校長が作成してください。（電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。） ただし、出願資格(4)の①③④⑤に該当する者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。
③あて名票 (シール台紙)	志願者本人及び在籍(出身)中学校等の住所・郵便番号等を記入してください。 ※シール台紙2枚それぞれに3票とも記入願います。
学 習 成 績 一 覧 表	学校長は、令和8年度公立高等学校入学者選抜実施要綱によって作成したものを1部提出してください。(A4判またはB4判) 令和7年3月以前卒業者は、当該年度に作成したものとします。 (本校志願者の番号に朱書で○印をつけてください。) 願書提出時に提出困難な場合は、 1月27日(火)までに必着 するように提出してください。 なお、中学校所在地の都道府県において「学習成績一覧表」を作成していない場合は、提出の必要はありません。

※留意事項

- (1) 書類の氏名は、住民票のとおり記入してください。
- (2) 学力選抜入試については、第1志望～第4志望までの入力を認めます。
- (3) 出願書類受付後は、志望学科等の変更は認めません。なお、現住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- (4) 提出書類の不備なものは受け付けできません。また、提出書類に虚偽の記入があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

3. 選 抜 の 方 法

(1) 学力検査及び面接

- ① 学力検査は、筆記試験(マークシート方式)とします。
- ② 検査教科は、**理科、英語、数学、国語の4教科**とし、4教科とも各100点満点とします。
- ③ 面接は、15分程度の集団面接とし、入学者受け入れ方針との適合性等について評価します。
- ④ 検査日時

期 日	教科名等	時 間	
本試験 2月8日(日) 追試験※ 2月15日(日)	理 科	9:30～10:20	(30分)
	英 語	10:40～11:30	
	数 学	11:50～12:40	
	昼 食	12:45～13:15	
	国 語	13:30～14:20	
	面 接	14:40～	

- ⑤ 検査会場 都城工業高等専門学校

(2) 調査書

調査書は、能力、適性を評価するための基礎資料として活用します。

(3) 合否判定は、2 ページのⅡ－3 (2) を参照してください。

※追試験の実施

(追試験の受験要件等)

- (1) 次に掲げる者を対象に追試験を実施する。

ア 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号。)第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本選抜を受験できない者

イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者

- (2) (1)アに示す本試験を受験できない事由は、中学校等の長又は医療機関による証明等(様式1又は様式2)により、校長が確認するものとする。(提出期限:令和8年2月10日(火)(必着))
- (3) (2)の事由により本試験を受験できない期間については、学校保健安全法施行規則第十九条に定める「出席停止の期間の基準」を原則とする。

4. 受験上の注意

- (1) 検査当日は、午前8時40分までに検査会場の指定された場所に集合してください。
- (2) 受験者は、受験票、筆記道具(HBの鉛筆等)及び弁当と飲み物を持参してください。下敷、コンパス、定規、分度器、電卓、携帯電話、ウェアラブル時計の使用は禁止します。
- (3) 受験のため宿泊が必要な者は各自で確保してください。
- (4) 受験上の注意は、受験票の「受験者心得」に記載してありますが、その他のことは、検査当日指示することがありますので、注意してください。
- (5) 検査会場内では、上履きは必要ありません。

5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

「推薦による入学者の選抜」の場合と同様とします。

6. 学力検査におけるマークシート方式の導入について

平成 28 年度入学者選抜学力検査から全ての教科で、マークシート方式による解答方法を実施しています。

解答は、**HBの黒鉛筆**を使用してください。（消しゴムは普段から使用しているもので問題ありません。）HB 以外の黒鉛筆やシャープペンシル等で解答した場合、正しく読み取れないことがあります。シャープペンシルはメモ書きや計算のために使用し、解答をマークする際には使用しないでください。

7. 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある 51 の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。志願者は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『入学者選抜学力検査会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する志願者は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（下記に記載している本校の「主たる検査会場」は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：都城工業高等専門学校学生課

電 話：0986 - 47 - 1132

相談期間：令和 7 年 11 月 4 日（火）～令和 8 年 1 月 16 日（金）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

各会場の受け入れ状況を随時更新します。

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/moyori>

本校の「主たる受験地」：都城工業高等専門学校



（機構ホームページ）

※「推薦による選抜」、「帰国生徒特別学力選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

最寄り地等受験制度の利用を希望する場合、同制度の利用を許可されている場合は Web 出願画面で受験地の選択時に「最寄り地等」を選択して出願手続きを完了してください。また、機構ホームページの「会場一覧」を参照して入学願書や受験票・写真票に、最寄り地等受験を許可された検査会場の「会場番号、会場略称」を記載してください。

Ⅱ－C

帰国生徒特別学力選抜

1. 出 願 資 格

日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、令和6年4月以降に帰国した者）で、次のいずれかに該当する者としします。

- (1) 中学校を卒業した者又は令和8年3月に中学校を卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業した者又は令和8年3月に義務教育学校を卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和8年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者
- (4) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者
 - ① 外国において学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）した者又は令和8年3月に卒業（修了）見込みの者
 - ② 文部科学大臣が中学校課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該施設を卒業（修了）した者又は令和8年3月に卒業（修了）見込みの者

※ 在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、令和7年11月21日（金）までに本校学生課（連絡先は、表紙に記載）に電話、電子メール、郵便等により照会してください。

2. 出 願 手 続

令和5年度入試からWEB出願となりました。WEB出願受付期間に本校ホームページから入力願います。詳細については、17ページの「8.WEB出願について」をご覧ください。

(1) WEB出願受付期間

令和7年12月1日（月）から令和8年1月15日（木）午後5時まで

(2) 出願書類受付

- ① 期 間 令和7年12月17日（水）から令和8年1月15日（木）まで（土曜、日曜、祝日を除く）

受付時間は、午前9時から午後5時まで

郵送の場合も、1月15日（木）（消印有効）とします。

※ 12月22日（月）から、各学科ごとに願書受付数（帰国生徒は内数）を本校のホームページでお知らせします。

- ② 場 所 都城工業高等専門学校 学生課

〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473 番地の1

(3) 志願者によるWEB出願

志願者は、WEB出願サイトへの入力及び検定料（16,500円）の納入を行い、WEB出願サイトから印刷した「写真票」及び募集要項にある「あて名票」を在籍（出身）学校へ提出してください。WEB出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(3)①に基づき、写真を貼り付けしたうえで、在籍（出身）学校へ提出してください。

④ 在籍（出身）学校長による出願書類の提出

在籍（出身）学校長は、(3)出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。手続きが全て完了すると、申込完了メールが志願者に届きますので、そのメール受信をもって出願手続きが完了となります。出願手続きを完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和8年1月20日（火）を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課まで問い合わせてください。

(3) 出願書類

出願は、次の書類を①～⑤の順にそろえ、**在籍（出身）学校長が一括して提出してください。**ただし、「1. 出願資格」(4)の①に該当する者は、各自提出してください。

郵送する場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「帰国生徒出願書類在中」と朱書してください。

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB 出願手続き完了後に発行される「受験票・写真票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面脱帽、上半身の写真（縦4cm×横3cm。カラー可。）を所定の位置に貼ってください。
② 調 査 書 (成績証明書、卒業証明書等)	日本人学校及び国内の中学校等の成績等は、本校所定の用紙又は電子書式により、在籍（出身）学校長が作成してください。 (電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています) 前記「1. 出願資格」の(4)①に該当する者（海外の現地校及び国際学校を卒業した者及び卒業見込の者）は、当該学校が発行した成績証明書及び卒業（修了）証明書又は同見込証明書を提出してください。 なお、成績証明書で提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。
③海外在住状況説明書	本校所定の用紙又は電子書式に必要事項を記入してください。 (電子書式は本校ホームページの入学案内に掲載しています。)
④ 住 民 票	外国籍を有する者のみ提出してください。 (永住者の在留資格がわかるもの)
⑤ あ て 名 票 (シール台紙)	志願者本人及び在籍中学校等の住所・郵便番号等を記入してください。 ※シール台紙2枚それぞれに3票とも記入願います。

※留意事項

- 書類の氏名は、住民票のとおり記入してください。
- 帰国生徒特別学力選抜入試については、第1志望～第4志望までの入力を認めます。
- WEB 出願後は、志望学科等の変更は認めません。なお、現住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに届け出てください。
- 提出書類の不備なものは受け付けできません。また、提出書類に虚偽の記入があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- 外国の学校又は機関が作成した書類については、必ず日本語訳を添付してください。

- (6) 帰国生徒特別学力選抜に出願を希望する場合でも、「推薦による入学者の選抜」に出願することができます。（「推薦による入学者の選抜」の出願資格を満たしている必要があります。）「推薦による入学者の選抜」の結果、合格内定とならなかった者は、帰国生徒特別学力選抜による入学志願者として取り扱います。詳しくは、「推薦による入学者の選抜」の「選抜の結果、合格内定とならなかった者の学力検査の受験」を参照してください。

3. 選 抜 の 方 法

(1) 学力検査及び面接

- ① 学力検査は、筆記試験（マークシート方式）とします。
- ② 検査教科は、**理科、英語、数学の3教科**とし、3教科とも各100点満点とします。
- ③ 面接は、15分程度の集団面接とし、入学者受け入れ方針との適合性等について評価します。
- ④ 検査日時

期 日	教科名等	時 間	
本試験 2月8日(日) 追試験※ 2月15日(日)	理 科	9:30～10:20	(30分)
	英 語	10:40～11:30	
	数 学	11:50～12:40	
	昼 食	12:45～13:15	
	面 接	13:30～	

- ⑤ 検査会場 都城工業高等専門学校

(2) 調査書

調査書は、能力、適正を評価するための基礎資料として活用します。

(3) 合否判定は、2ページのⅡ－3(3)を参照してください。

※追試験の実施

「学力検査による入学者の選抜」の場合と同様とします。

4. 受験上の注意

「学力検査による入学者の選抜」の場合と同様とします。

5. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

「推薦による入学者の選抜」の場合と同様とします。

6. 帰国生徒特別学力選抜での学力検査におけるマークシート方式の導入について

「学力検査による入学者の選抜」の場合と同様とします。

Ⅲ. 共 通 事 項

1. 合格者の発表

(1) 日 時

令和8年2月20日(金) 午前10時

(2) 方法等

合格者の受験番号を本校学生課前の掲示板に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。

合格者宛に合格通知書等を発送します。併せて、出身中学校長宛に合否結果を発送します。

なお、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

(3) 入学意思確認書の提出（学力選抜、帰国生徒特別学力選抜のみ（推薦選抜を除く。）

合格の通知を受けた者は、令和8年2月27日(金) 午後5時（「追試験」を含む）までに入学意思確認書を郵送または学生課窓口に提出してください。入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

なお、2月27日(金)までにFAXで提出していただき、原本は、後日、郵送または御持参いただいても構いません。

2. 合格者出校日

合格者に対する入学手続きを3月4日(水)に行いますので、保護者同伴で出校してください。詳細については、おって通知します。

なお、当日出席しなかった者は、特別の理由がない限り、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

3. 追 加 合 格

追加合格を行う場合は、追加合格者に対して3月4日(水)に出身中学校へ電話等で連絡しますので、その際は確実に連絡の取れるような措置を講じておいてください。

4. 学力検査による入学者の選抜を受験した者の入試成績の開示

受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

なお、推薦選抜及び帰国生徒特別学力選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

(1) 申請者

学力選抜における受験者本人に限ります。

(代理人による申請は認めません。)

(2) 開示内容

- ① 学力検査の教科別得点
- ② 第1志望学科における順位

(3) 申請期間

令和8年3月4日(水)から4月30日(木)までとします。

(土曜日、日曜日及び祝日を除き、9:00～12:00、13:00～16:00)

(4) 申請に必要な書類等

- ① 都城工業高等専門学校入試成績開示申請書

(注) 入試成績開示申請書は、本校ホームページからプリントアウトすることができます。

- ② 本校受験票
- ③ 返信用封筒（開示通知書送付用）

長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所（入学願書に記載されている住所に限る。）・氏名を明記の上、簡易書留料金分の切手を貼ってください。

(5) 申請方法

申請は、前述（４）の書類等を、本校学生課の窓口で直接提出するか、または郵送により行ってください。（４月30日(木)消印有効）

(6) 開示の方法

本校所定の様式により、申請の際に提出された返信用封筒を使用し、郵送により開示します。（発送は準備が整い次第行いますが、２週間程度日数がかかる場合があります。）

(7) 問い合わせ先（郵送先）

〒 885 - 8567
宮崎県都城市吉尾町 473 番地の 1
都城工業高等専門学校 学生課
電話 0986 - 47 - 1132

5. 検定料についての注記

納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。なお、返還の際には振込手数料を差し引いた金額での振込みとなります。

- ・ 検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・ 検定料を重複で納付した場合

上記の場合は、本校学生課（TEL0986-47-1132）までご連絡ください。

6. 災害により被災したことによる入学志願者の検定料免除について

入学志願者のうち、出願する入学者選抜の種類に応じ、当該種類の前年度入学者選抜試験実施日から、当該年度入学者選抜試験実施日の前日までの間において、次の各号のいずれかに該当する者を対象として、出願する入学者選抜において、検定料免除申請書及び添付書類を提出したときは検定料を全額免除します。

詳細については、本校ホームページを御覧ください。

- ① 本人又は学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が半壊以上（床上浸水含む。）の被害を受けた場合
- ② 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合

7. 募集要項の請求

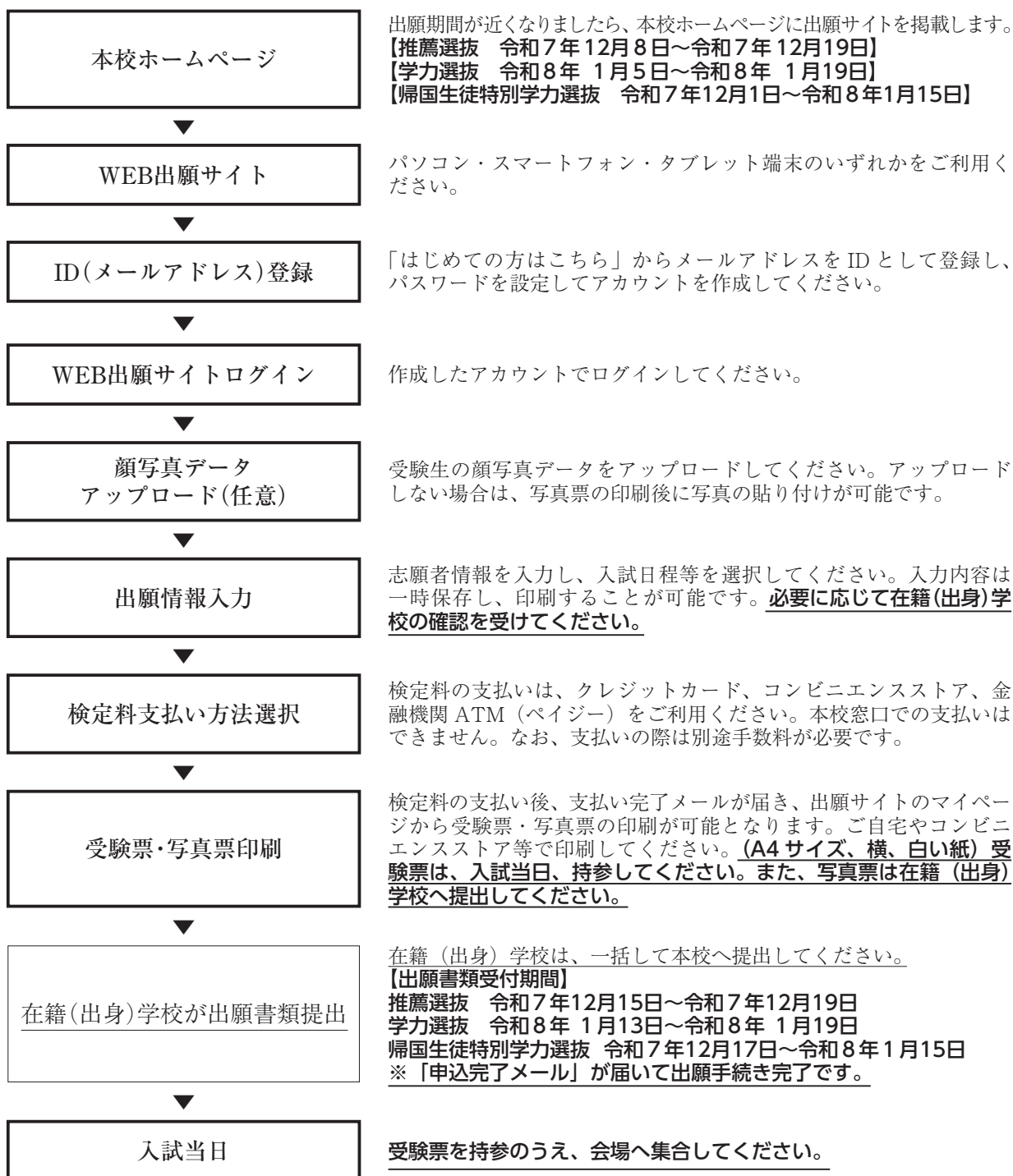
募集要項は、本校学生課で交付します。郵送を希望する場合は、「募集要項請求」と朱書きした封筒に、あて名を明記した「レターパックライト」を同封して請求してください。

8. WEB 出願について

推薦による選抜、学力検査による選抜・帰国生徒特別学力選抜で WEB 出願を行います。パソコン、スマートフォン、タブレット端末から、本校ホームページの「PICKUP NEWS」または「受験生の方」>「入学案内」>「WEB 出願」の出願サイトにアクセスし、志願者情報の入力・検定料の支払い方法の選択等を WEB 上で行った後、写真票・調査書等の必要書類の到着をもって出願完了となります。志願者による手続きの流れは以下のとおりです。

※「出願サイト」には、入力等のマニュアルも掲載いたします。

【志願者による手続きの流れ】



【WEB 出願システムに関するお問い合わせ先】

(ミライコンパス) サポートセンター:(出願サイト右下にある「お問合せ先」から電話番号を確認してください)

入学者選抜においてW E B 出願 を導入しました。



出願時願書も来校も不要。

大切な受験シーズン。受験生・保護者の出願手続きの負担を減らすため、願書の受取・提出のための来校は必要ありません。『募集要項』を確認して、本校ホームページから『W E B 出願サイト』へ。出願の申込手続は全てWEB上で行っていただけます。

いつでもどこでも、出願できます。

『W E B 出願サイト』は、パソコンやスマートフォンに対応していますので、ご自宅で、外出先で、塾で、移動中でも出願申込をしていただけます。

また、検定料納入はクレジットカードやコンビニエンスストア、ペイジー（金融機関ATM・ネットバンキング）などのお支払い方法を選択し、検定料を支払うだけで出願できます。

充実サポートで安心出願。

出願時の操作でわからないことは、『W E B 出願サイト』内の『よくある質問』をご覧ください。

それでも解決しない場合は、24時間対応のコールセンター（次ページに記載）へお問合せください。システム操作面のサポートをいたします。

すべてはマイページに。

出願時にメールアドレスを登録すると、出願申込の履歴確認、受験票の印刷も、すべてはこのマイページの中で確認できます。

また、顔写真のデータをアップロードしておくと、受験票印刷時に、写真も一緒に印刷されます。

プリンタがないご家庭でも、コンビニエンスストアのコピー機から印刷可能です。

<W E B 出願の流れ>



都城工業高等専門学校学生課
〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町473番地の1
TEL. 0986-47-1132 FAX. 0986-47-1143
メールアドレス. g-hosa@jim.miyakonojo-nct.ac.jp

都城工業高等専門学校 WEB出願について

導入のねらい

受験生・保護者の皆様 の出願の負担をサポート

ご家庭の世帯労働時間が伸び続けている中、入学願書、写真票・受験票、振込依頼書、受験票送付用封筒の記入、検定料の支払い手続きなど入学志願者の利便性の向上並びに中学校様における出願書類確認手続きの負担を軽減する手段が必要と考えました。

また、本校においても、出願業務にかかる業務をシステムに代行させることで、より多くの時間を、受験相談、本校の教育等の時間に充てることができると考えています。

本校導入システム(miraicompass) の特長

245万名の志願者が利用 mcIDで安心出願

本校が導入するシステムは、令和5年度約245万名の志願者が利用した実績を持つものです。実際に使った受験生・保護者からは、「操作がわかりやすく安心しました。」「体調に気を使う時期でもあるので、自宅から出願できて助かりました。」などの評価がありました。

確認しやすいメールアドレス をID登録しましょう

miraicompassはメールアドレスをIDとしてご登録いただけます。このIDに、決済完了や出願申込完了のメールが届きます。また、緊急時には本校からメールをお送りする場合がございます。スマートフォンや携帯など、いつでも確認しやすいメールアドレスをご登録いただくと便利です。

誰でも簡単にできますか？

パソコン、スマートフォンから 出願できます

インターネットにつながる環境があれば、どこからでも本校への出願手続きを行っていただくことができます。検定料のお支払も、コンビニ、クレジットカード、銀行ATM（ペイジー：キャッシュカード・現金）、ネットバンキング（ペイジー）などのどれでもお使いいただけます。

プリンタがなくても大丈夫

本校のWEB出願は、受験票を受験生・保護者の皆様にご自宅のプリンタで印刷していただけます。

なお、プリンタをお持ちでない場合、お近くのコンビニエンスストアにあるマルチコピー機を使って簡単に印刷していただけます。

コールセンターが24時間 お問合せを受付けます

WEB出願システムの利用に関するお問合せは、24時間対応のコールセンターでお受けします。

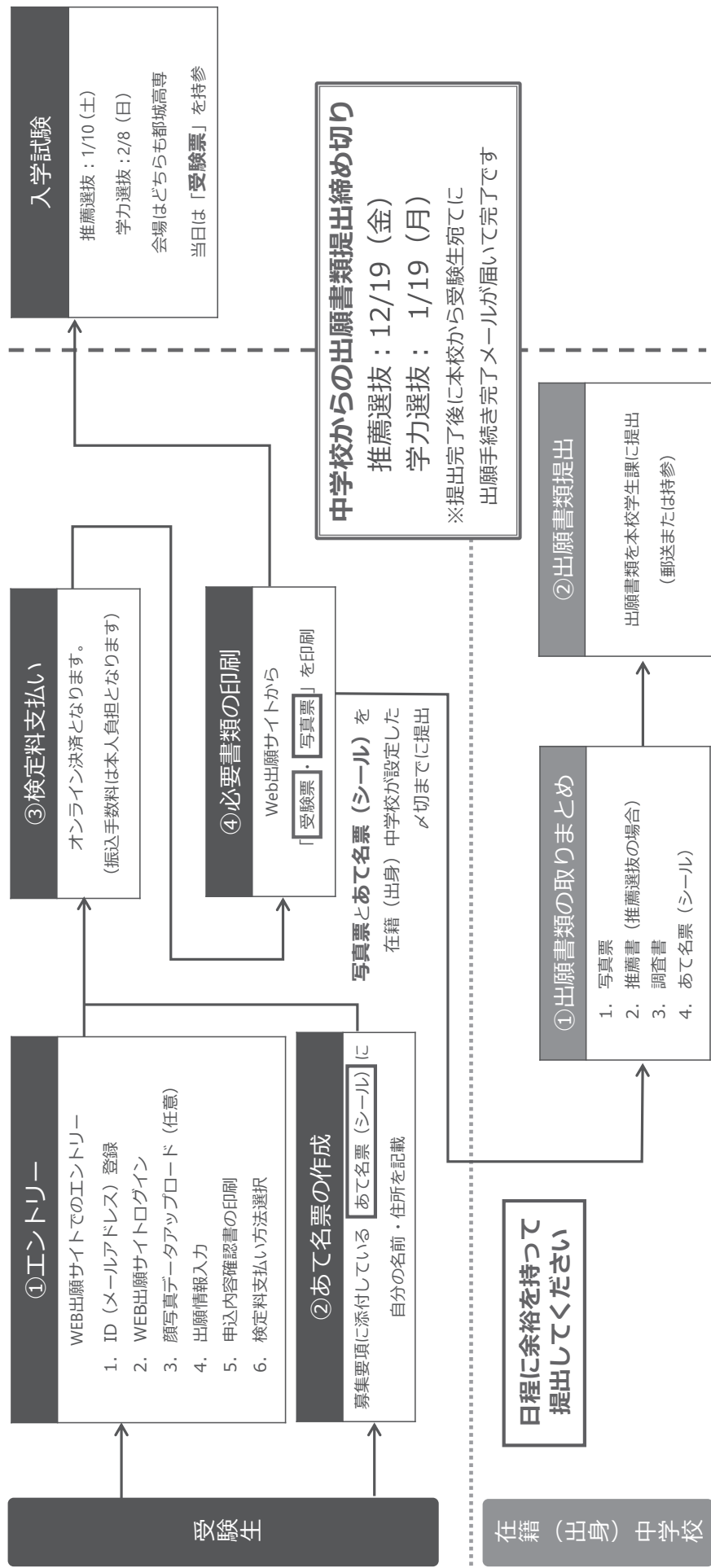
（ミライコンパス）サポートセンター：

出願サイト右下にある「お問合せ先」から、いつでもお問合せください。



WEB出願方式の流れ

推薦選抜・学力選抜におけるWEB出願の流れは以下のとおりとなっております。



入 学 案 内

1. 創 立

昭和 39 年 4 月 1 日

2. 目 的

本校は、「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」を教育理念とし、5 年間の一貫教育により、豊かな創造性、優れた知性、高度な社会性、確かな実行力をもった技術者を育成することを目的としています。

3. 都城工業高等専門学校 本科の三つの方針

(1) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

都城高専（以下では本校）では、「優れた人格を備え国際社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者の育成」を教育理念として掲げる。この理念のもと、各学科共通及び各専門学科の定めた修得すべき能力を身につけ、準学士課程の学習・教育目標とサブ目標（別紙）を達成し、本校の第 5 学年終了時において 167 単位（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上）の単位修得した学生について卒業を認定し、準学士の学位を授与する。

【共通】

- (1) 専門分野を理解する上で必要な数学、物理学の基礎的知識を有し、それらの知識を専門分野に応用できる総合的能力
- (2) 広範な知識と豊かな人間性・社会性を持ち、複合分野で活躍できる学際的能力
- (3) 様々な工学的手法を駆使し、周囲とのコミュニケーションを図りながら技術的な課題や問題を解決に導く創造的能力
- (4) 英語能力及び論理的な思考による文章作成能力と効果的なプレゼンテーション能力
- (5) 技術者の社会的責任に基づく倫理的判断能力

【機械工学科】

- (1) 機械工学の基礎知識、基礎技術を用い、設計から製作までを実践できる総合的能力
- (2) 機械工学に関する様々な物理現象を評価・分析し、ものづくりのプロセスを提案・改善できる学術的能力

【電気情報工学科】

- (1) 電気情報工学分野である電気、電子、制御、通信、情報の広範な基礎学力を身に付けた適応力のある実践的能力
- (2) 電気情報工学に関する課題、現象、社会問題を把握する洞察力および創造的能力

【物質工学科】

- (1) 物質工学とそれに関係する基礎的な理論および技術を確実に理解し、応用できる能力
- (2) 物質工学に関する課題、現象、社会問題を主体的に把握し解決する能力および創造的能力
- (3) 自らの考えを論理的に展開でき、発表・議論ができる能力、化学英語に関する文書作成やプレゼンテーションができる能力

【建築学科】

- (1) 建築学全般において、性能、安全性、環境負荷、経済性などに配慮し、建築物を計画・設計できる能力
- (2) 国内外の建築に関わる歴史や文化について、さまざまな事柄を認識できる学術的能力

(2) 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

本科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、全国高専共通のモデルコアカリキュラム（MCC）をベースに一般科目（人文・社会、外国語、数理・自然科学、情報）と専門科目（機械、電気情報、物質、建築）を体系的に教育課程（カリキュラム）を編成している。

カリキュラムは、講義、演習、実験実習を 1 年次より 5 年次まで適切に組み合わせた授業を開講している。カリキュラムの体系は、Web シラバスにより授業内容や科目間の関連をわかりやすく明示している。

ディプロマ・ポリシーにて掲げた能力を養成するために、以下の科目を開講している。

- (1) 一般科目：必修科目（国語、英語、物理、基礎数学、情報基礎など）と選択科目（美術、法学など）を基盤とした基礎科目
- (2) 専門科目：各専門学科の技術修得に関する専修科目（工学実験、情報処理演習、校外実習など）の実技科目と必修科目（微分方程式、応用物理、情報基礎など）からなる専門科目
- (3) 卒業研究：最終学年の5年次に高専教育の総合的能力（課題解決能力、論理的な思考力、チームワーク力、プレゼンテーション能力など）を開発するための科目

さらに専門科目については、各学科において下記の科目群を開講している。

【機械工学科】

- (1) 機械工学の基礎知識・技術を育む科目：いわゆる4力学（機械力学、材料力学、熱力学、流体力学）などを基盤とした基礎専門科目、および実践的な設計製図、工作実習、工学実験などの基礎技術科目
- (2) 創造的能力を育む科目：創造設計などの、創造的能力（課題解決能力、論理的思考力、応用力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力など）を開発するための科目
- (3) 技術者としての倫理観・判断能力を育む科目：技術者倫理概論などの、技術者としての社会的責任を自覚させ、技術的倫理・価値観を涵養する科目

【電気情報工学科】

- (1) 電気情報工学の基礎科目（I群科目）：電気、電子、制御、通信、情報工学を基盤とした基礎専門科目
- (2) 技術習得に関する科目（必修科目）：電気製図、電気情報工学実験、電子電気情報設計などの実践的能力育成のための実技科目
- (3) 学際的能力育成科目（必修科目）：ゼミなどの、適応力のある実践的能力、学際的能力を開発するための科目

【物質工学科】

- (1) 物質工学の基礎科目：分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、生物化学などの化学の基礎専門科目
- (2) 実践的技術修得に関する科目：基礎化学実験、無機化学実験、有機化学実験、物理化学実験、生物工学実験、工学演習などの各年次に配置された実技科目。化学工学、生物工学、材料化学などの応用化学や応用生物を中心とした科目
- (3) 豊かな創造力育成科目：講義と並列した実験・演習科目および卒業研究などの課題解決能力、論理的思考力、応用力、チームワーク力といった創造性能力を開発するための科目
- (4) コミュニケーション能力：各年次に配置された実験および演習科目や外国語科目において、日本語および外国語による論理的記述能力、プレゼンテーション能力、討議等におけるコミュニケーション能力を養成するための科目

【建築学科】

- (1) 構造分野：鉄筋コンクリート構造や鋼構造および木質構造など構造設計の根本となる技術や、地震災害の脅威から建物・都市の安全を確保するための技術に関する科目
- (2) 生産・材料分野：建築材料の種類や特徴、建築生産のための技術に関する科目
- (3) 計画分野：設計に必要な計画理論としての生活と空間の係わりに関する技術、都市と生活の係わりに関する技術、計画の意図を適切に表現するための技術に関する科目
- (4) 環境工学・設備分野：建築空間の快適性・利便性とそれを実現するための技術、給排水衛生、空気環境、熱環境のための技術に関する科目
- (5) 建築史分野：古代から現代の建築に至る西洋と日本のデザイン・構造の歴史に関する科目

【別紙】

（準学士課程の学習・教育目標とサブ目標（1-1、2-1 など）

1. あらゆる可能性を追求できる豊かな創造性を有する技術者の育成

1-1 社会の要求あるいは学問的関心に基づいたアイデアを検証することができる基礎技術を身につけていること

1-2 専門技術に関する創造的構想を具現化するための基礎技術を身につけていること

- 1-3 社会の要求あるいは学問的関心に基づいた問題を自ら発見し、その問題を理論的に解決するための基礎知識および基礎技術を身につけていること
- 2. 科学と工学の知識を駆使して技術的問題を解決し、新規生産技術をデザインできる優れた知性を有する技術者の育成**
- 2-1 工学の専門科目の基礎となる数学、自然科学および情報科学の理論を理解し説明できること
- 2-2 技術的諸問題を解決するための基礎工学の知識を理解し説明できること
- 2-3 工学に関する問題点を理解し、適切に対処できること
- 2-4 性能、安全性、環境への影響、経済性または審美性などを配慮できること
- 3. 世界の歴史・文化および倫理を常に考え国際社会に貢献できる高度な社会性を有する技術者の育成**
- 3-1 日本の内外の歴史や文化に関するさまざまな事柄を認識できること
- 3-2 社会のさまざまな価値観や規範を理解し、社会の構成員としての自覚を持っていること
- 3-3 言語等の表現手段によって他者と意思などを疎通させる能力を持っていること
- 4. 自然・社会環境に関連する諸問題に積極的・計画的に取り組み、継続して推進する確かな実行力を有する技術者の育成**
- 4-1 科学技術が自然・社会環境に影響を及ぼす諸問題を理解できること
- 4-2 関連する人々と協力して、自分の研究や実験課題に積極的・計画的に取り組むことができること
- 4-3 健康・安全を保持する基礎能力を身につけ、自然・社会環境に関する諸問題に積極的に取り組むことができること

(3) 入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

求める学生像

本校は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す能力を持った学生を育成するために、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を実施する。この教育を受けるに相応しい人材を以下に示す。

- (1) 様々な分野に関心をもち総合的な基礎学力がある人
- (2) 科学と工学を基礎とした「ものづくり」に興味がある人
- (3) 技術者として社会に役立ちたいと考えている人
- (4) 責任をもって継続的にものごとを実行できる人

4. 修業年限・学科等

学 科	修業年限	学級数	入学定員	総 定 員
機 械 工 学 科	5	1	4 0	2 0 0
電気情報工学科	5	1	4 0	2 0 0
物 質 工 学 科	5	1	4 0	2 0 0
建 築 学 科	5	1	4 0	2 0 0
計			1 6 0	8 0 0

5. 卒業生の称号

卒業生には、準学士の称号が授与されます。

6. 教育課程

本校の教育課程は、各学科共通の一般科目と学科別の専門科目で編成されています。

一般科目と専門科目の学年別比較

5年	5時間	31～32時間
4年	10時間	25～26時間
3年	16時間	18～19時間
2年	21～23時間	11～13時間
1年	29～31時間	4～6時間

■ 一般科目 ■ 専門科目

【注】時間：週当たりの授業時間数（学科により若干の差異があります。）

7. 入学時に要する諸経費（令和8年4月予定）

納入金	入 学 料 授 業 料	84,600 円 117,300 円 (前期分) (年額 234,600 円)	※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。	
その他の経費	・教科書・教材費等 ・学生会入会金 ・学生会費（年額） ・後援会入会金 ・後援会費（年額）	約 100,000 円 1,000 円 4,400 円 10,000 円 25,000 円	・英語実力テスト 数学実力テスト代等 ・独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金 ・学生傷害保険 ・学生生活補償保険料 ・同窓会入会金	1,372 円 (令和6年度額) 1,550 円 10,000 円 1,370 円 10,000 円
計 約 366,592 円				

8. 入学料免除制度、就学支援金制度、授業料免除（減免）制度

(1) 入学料免除制度

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難である者に対しては、申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、所定の期日に入学料の納付が困難な者に対して徴収猶予の制度もあります。

(2) 就学支援金制度

高等専門学校1～3年生（在籍36ヶ月までの学生）に対して、就学支援金として月額9,900円（年額118,800円）が助成され、授業料に充当されます。これにより、保護者の方が負担される授業料の金額は、年額115,800円（前・後期57,900円ずつ）となります。

平成26年度に制度が変わり、平成26年度入学生から年収910万円程度以上の家庭は、助成の対象外となりました。

また、低所得世帯の学生については、保護者の所得に応じて就学支援金の額が加算されます。所得に応じて、授業料が無償（全額免除：234,600円→0円）となる場合があります。

なお、制度の変更により、支給額等が変更になることがあります。

(3) 授業料免除（減免）制度

4～5年生は、高等教育の修学支援新制度対象校となっており、支援対象基準を満たす場合は授業料免除（減免）や給付奨学金の支援を受けることが可能です。

9. 奨学金制度

人物、学業ともに優れ、経済的理由により著しく修学が困難な者を対象とし、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与または給付する制度があります。

<参考：日本学生支援機構奨学金制度（令和7年度）>

◎貸与奨学金の貸与月額

区 分		自 宅	自宅外
第一種奨学金 (無利子)	1～3年	10,000 円、21,000 円	10,000 円、22,500 円
	4～5年	20,000 円、30,000 円 45,000 円	20,000 円、30,000 円 40,000 円、51,000 円
第二種奨学金 (有利子)	4～5年	20,000 円～ 120,000 円（1 万円単位）から選択	

◎給付奨学金の給付月額

区 分		自 宅	自宅外
4～5年	第Ⅰ区分	17,500 円 (25,800 円)	34,200 円
	第Ⅱ区分	11,700 円 (17,200 円)	22,800 円
	第Ⅲ区分	5,900 円 (8,600 円)	11,400 円
	第Ⅳ区分 (多子世帯に限る)	4,400 円 (6,500 円)	8,600 円

※区分は世帯の所得金額に基づき決定します。

※生活保護を受けている生計維持者と同居している人等はカッコ内の金額となります。

10. 学生寮

入学後、通学距離によらず保護者等の元を離れて自立する意志を強く持ち、寮生規範を遵守することができる学生で入寮を希望する者は、WEB 出願の際、入寮希望「有」と必ず入力してください。なお、入寮希望者が多い場合は、選考の上、入寮者を決定します。

◎学寮必要経費（月額）令和7年度現在

寄宿料	700 円 (2 人部屋)、800 円 (個室)	
食 費	40,920 円 (1,320 円 / 日)	1,320 円 × 喫食日数
管理費	10,800 円 (9 月・3 月は徴収なし)	水光熱費・インターネット利用料金、電気料金、エアコン料等
月額合計	52,420 円 (2 人部屋の場合)	

※金額の改定が行われた場合は、改定時から新料金が適用されます。

※上記のほか、寮祭等、寮生会主催行事の経費として、寮生会費（年額 5,000 円）の徴収があります。

11. 課外活動

本校では、豊かな心、自律の精神を養うことを目標に、次のクラブが活動しています。

- ◎体 育 部 サッカー、弓道、剣道、柔道、陸上競技、硬式野球、ソフトテニス、ラグビー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、水泳、ハンドボール、テニス、女子バスケットボール、女子バレーボール
- ◎文 化 部 吹奏楽、情報処理、低燃費車製作研究
- ◎ロボット製作局
- ◎同 好 会 【体育部門】
ダンス、モータースポーツ、空手、筋トレ
【文化部門】
日本文化、フリーサイエンス、園芸、サブカルチャー研究、茶道、美術、写真映像、アコースティックギター、天文研究、ものづくり、軽音楽、ボランティア、ジャグリング、理学

12. 卒業後の進路

(1) 就 職

本校では、昭和 39 年 4 月創立以来、約 7,950 人の卒業生を送り出し、産業界等からその能力は高く評価されています。毎年産業界の各方面から多数の求人依頼があり、昨年度の求人倍率は約 20.1 倍で、過去 2 年の主な就職先は次のとおりです。

◆機械工学科

- 令和6年度 SCREEN グラフィックソリューションズ、SUBARU テクノ、JAL エンジニアリング、タマディック東レエンジニアリング、トーテックアメニティ、トータルテクニカルソリューションズ、西日本高速道路エンジニアリング九州、ニプロ、日本電設工業、パナソニックインダストリー、日立ビルシステム、本田技研工業、三菱ケミカル、三菱重工業、三菱地所コミュニティ、ミネベアミツミアクセスソリューションズ、メタウォーター、ロッテ
- 令和5年度 旭化成、石福金属興業、ENEOS、京セラ鹿児島準人工場、京都製作所、キリンビール(株)神戸工場、コマツカスタマーサポート、JASM、ニコン、日産オートモーティブテクノロジー、ファナック、福井村田製作所、三菱地所コミュニティ、宮崎日機装、ユー・エム・アイ九州工場、YMIT

◆電気情報工学科

- 令和6年度 アイ・システム、ウナルステクノロジー、ANA ベースメンテナンステクニクス、AJS、エクシオデジタルソリューションズ、NTT アノードエナジー、NTT データ・フィナンシャルテクノロジー、京セラコミュニケーションシステム、タイムカプセル、中部国際空港テクニカルコネクト、データアプリケーション、テクノプロ テクノプロ・デザイン社、デンサン、日本オーチス・エレベーター、林兼産業、日立ハイテクフィールドディング、ファインディックス、富士電機、富士フイルムビジネスイノベーション、マクスエンジニアリング、宮崎エプソン
- 令和5年度 アイ・システム、アステック、NEC ネットズエスアイ、西日本電信電話、科学情報システムズ、環境総合リサーチ、九州大真空、九州電力、京セラ鹿児島国分工場、クレスコ、ジェイ・クリエイション、全農サイロ中部電力、東上セレモサービス、西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社、ファインデックス、ファナック、FIXER、富士ソフト、富士通ネットワークソリューションズ、富士電機、宮崎銀行

◆物質工学科

- 令和6年度 旭化成、アサヒビール、ENEOS、花王、独立行政法人国立印刷局、沢井製薬、サントリーホールディングス、第一三共プロファーマ・ケミカルファーマ、Daigas ガスアンドパワーソリューション、太陽ファルマテック、田中貴金属グループ、田中貴金属工業、DM 三井製糖、帝人ファーマ、東京エレクトロン、東京エレクトロン FE、東京瓦斯、日鉄環境、一般社団法人日本血液製剤機構、日本たばこ産業、富士石油、ヤマエ食品工業、ユー・エム・アイ、ラピスセミコンダクタ
- 令和5年度 旭化成、出光興産、ENEOS、京セラ、グンゼ、サントリー、第一三共ケミカルファーマ、第一三共プロファーマ、ダイキン工業、大日精化工業、田辺三菱製薬工場、日東電工、日本血液製剤機構、P&G ジャパン、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン、プレジール、三島光産、三菱重工業総合研究所、宮崎日機装、森トラスト・ビルマネジメント、UIM、ユニチカ、ラピスセミコンダクタ

◆建築学科

- 令和6年度 アイ工務店、イリア、オリックス・ファシリティーズ、鹿児島県庁、九電工、京セラ国分工場、五洋建設、ザイマックス、ザイマックス関西、ザイマックス九州、スペース、ダイキンエアテクノ、ダイキンHVACソリューション九州、大和ハウス工業、TAK イーヴァック、東レ建設、戸田建設、日本国土開発、フジタ、都城市役所、ユー・エム・アイ、ユニティー、横河システム建築
- 令和5年度 アイディ・ホーム、一条工務店、M&F、大林組、Koa Architect、国分ハウジング、コーナン建設、五洋建設、桜木組、住友不動産、大和ハウス工業、竹中工務店、丹勢建設、東急建設、戸田建設、南生建設、西日本高速道路、日本国土開発、日本メックス、はやま建設、三井不動産レジデンシャル、三越伊勢丹プロパティ・デザイン、三菱重工機械システム、三菱地所プロパティマネジメント、吉満組、LIXIL

(2) 進 学

高専の卒業生が進学を希望する場合には、高専の専攻科に進学する道と大学の3年生に編入学する道の二つの選択肢があります。

高専の専攻科は、修業年限は2年間ですが、自分が希望する高度な専門的授業が受けられるように多くの科目が開設されています。専攻科の課程を修了し、一定の条件を満たした者については、大学の卒業生と同じように「学士」の学位が取得でき、大学院に進学することもできます。

また、国立・公立大学編入学に比べて納入費用が安く、授業料は半分以下、入学金は約3分の1となっています。

本校の専攻科には、「機械電気工学専攻」、「物質工学専攻」及び「建築学専攻」の3専攻があります。

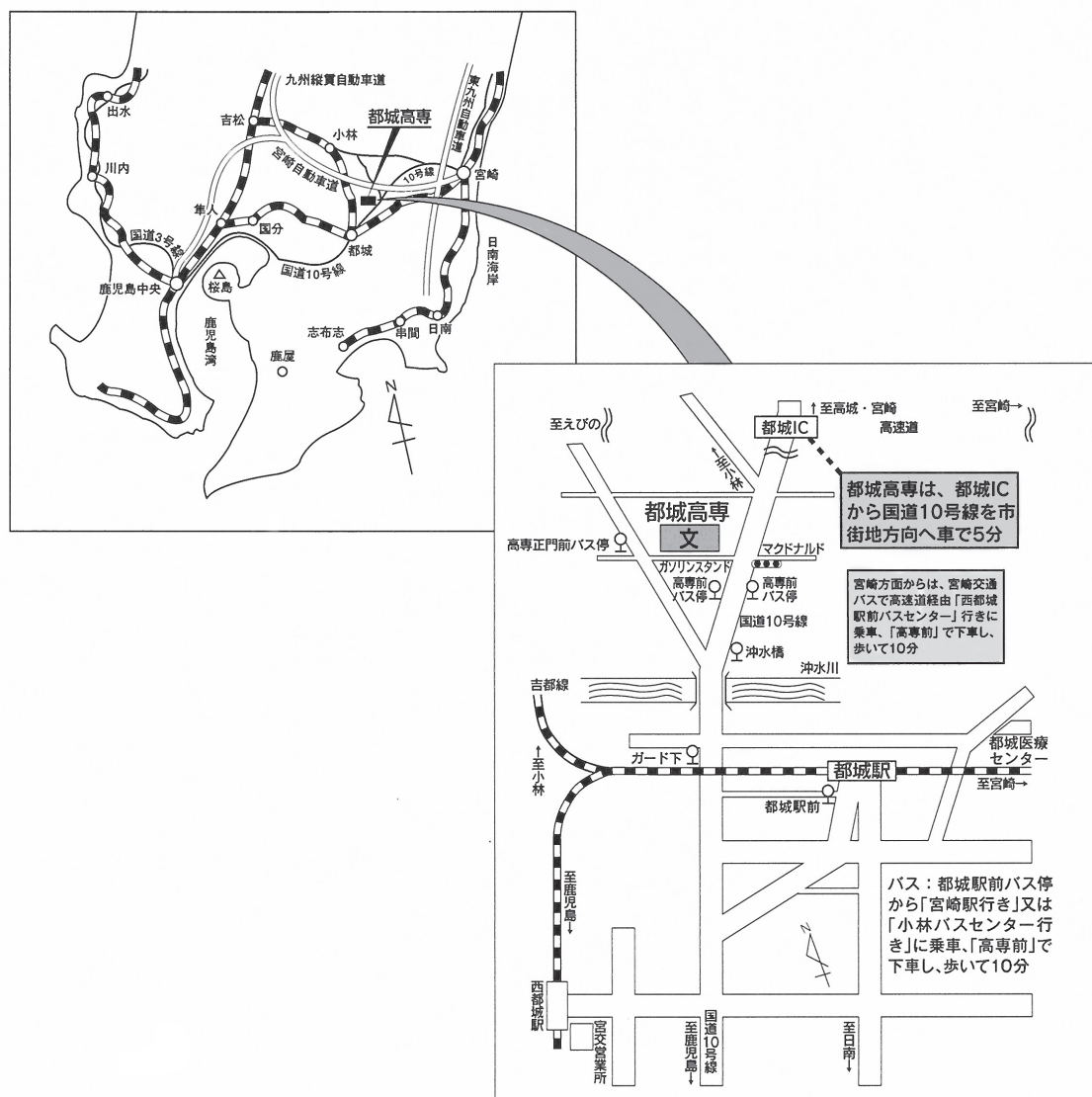
進学のもう一つの選択肢は、大学の3年生への編入学です。九州地区をはじめ多くの国公私立の大学が高専卒業生を受け入れています。

◆最近（5年間）の主な大学編入学先

北海道大学、群馬大学、東京工業大学、東京通信大学、東京都立大学、東京農工大学、武蔵野美術大学、産業能率大学、千葉大学、関東学院大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、京都芸術大学、和歌山大学、九州大学、九州工業大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、鹿児島体育大学、電気通信大学、南九州大学

13. 検査会場案内図

都城工業高等専門学校
宮崎県都城市吉尾町473番地の1



検査会場までの案内

◎ JR 都城駅から約 3.5kmです。

バス利用の場合は、宮崎交通バスで都城駅前バス停から「宮崎駅行き」又は「小林バスセンター行き」に乗車、「高専前」で下車してください。（バス所要時間約 10 分）

■ 都城駅……バス停「都城駅前」→ 沖水橋 → **高専前** ……高専
10号線経由（歩いて10分）

◎ 宮崎方面からのバス利用の場合は、高速道路経由「西都城駅前バスセンター」行きに乗車、「高専前」で下車し、歩いて10分です。

添 付 用 紙 等

◎調 査 書

◎推薦書（推薦選抜志願者用）

◎帰国生徒特別学力選抜海外在住状況説明書

◎追試験受験申請書（様式1、様式2）

◎あて名票（中学校用、本人用）

志願者の個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された調査書等に記載されている情報や、WEB出願システムで入力した情報に加え、選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用し、適正な管理と保護に努めます。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入寮後の教育・指導
- (3) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (4) 奨学金申請の審査
- (5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

調 査 書

(推薦選抜・学力検査選抜 共通)

志願者	ふりがな						性別	生年月日	昭和・平成 年 月 日				
	氏 名							卒業年月	平成・令和 年 月 卒業 卒業見込				
学習の記録	教科 評 定	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 家 庭	外国語	評 定 小 計	評 定 合 計	
	第3学年												
	第2学年												
	第1学年												

※以下の枠内は推薦選抜のみ記入

特別活動の記録		特別活動以外の諸活動の記録及び特技
学級活動		※学校内外でのロボットコンテスト等創造的 活動の成績、数検等の各種資格
生徒会活動		
学校行事		
その他の特記事項（ボランティアなど）		

この調査書の記載事項に誤りのないことを証明します。 令和 年 月 日 学 校 名 所 在 地 校長氏名	学校の電話番号
	記載責任者氏名

公印

記入についてのお願い

1. 本調査書は、出身学校長が作成してください。
2. 学習の記録の評定は、第1・2・3学年とも5段階評価で記入してください。
なお、第3学年は、次のとおり総合評定を記入してください。
3学期制の場合……第3学年は、第1学期と第2学期の総合評定を記入。
2学期制の場合……第3学年は、12月末現在の総合評定を記入。
3. 特別活動の記録、特別活動以外の諸活動の記録及び特技の欄は、在学中の活動状況について記入してください。なお、該当がない場合は、斜線を引いてください。
4. 本調査書の学習の記録に係る訂正については、必ず校長の公印を押印してください。
(学習の記録以外に係る訂正については、記入者の印を押印しても差し支えありません。)
5. 調査書の電子書式は、本校ホームページの入学案内に掲載しています。

※第3学年の評定についての記載方法

臨時休業等により第3学年の評定を記載できない場合は、その理由を付して記載不可とすること
(例:「新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため記載不可。」)。

※特別活動の記録等についての記載

臨時休業や大会、資格・検定試験等の中止等により、特別活動の記録等、記載できない場合は、その理由を付した上で、当初参加を予定していた大会名や資格・検定試験名などを記載すること
(例:「〇〇〇に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。」)。

評定について不明な場合は、お問い合わせください。

推薦書

独立行政法人 国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校長 殿

所在地
学校名
校長氏名

公印

令和 年 月 日

下記の者は、貴校の実施される推薦入学の基準に該当する者と
認め、責任をもって推薦いたします。

記

ふりがな		生年月日	平成 年 月 日生
氏 名	男 . 女	志望学科	学科

推薦理由

(抽象的でなく具体的な事実に基づいて記入してください。)

① 志望学科に対する適性・興味・関心

② 人物所見

③ 学業成績

④ 特別活動（生徒会、校外活動等）・部活動

⑤ その他（入学後の学習指導及び生活指導に役立つと思われる事項があれば記入してください。）

記入責任者氏名

印

帰国生徒特別学力選抜 海外在住状況説明書

西暦 年 月 日

独立行政法人 国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校長 殿

志願者氏名

保護者氏名 印

下記の記載事項は、事実と相違ないことを誓約いたします。

記

1. 海外在住地名

2. 海外在住期間 志願者 西暦 年 月 日 ～ 西暦 年 月 日

保護者 西暦 年 月 日 ～ 西暦 年 月 日

3. 出国前・海外在住中・帰国後の学歴

学 校 名	学校所在地 (国・都市名)	期 間

【備考】 特に参考になることがあれば、ご記入ください。

様式 1

令和 年 月 日

令和 8 年度都城工業高等専門学校入学者選抜 追試験受験申請書

独立行政法人 国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校長 殿

フリガナ
志願者 氏 名 _____
生年月日 ____年 ____月 ____日生 (____歳)
保護者 住 所 _____
氏 名 _____ 印
電 話 _____

追試験の受験を下記理由により申請します。

記

1. 受験番号 ※49- _____
 受験学科 _____ 学科

2. 申請理由

☐ 試験日直前に発熱や咳等の症状が発症し、新型コロナウイルス感染症
の罹患が疑われ本試験を受験できなかったため

※保健所等に相談のうえ医療機関等を受診し、その受診記録(領収書・薬袋など)を
添付すること。

☐ その他(_____)
_____)

※「その他」は、追加の選抜、追試験を認める要件に該当するが、医療機関等からの証
明がもらえない特別な理由等があり、やむなく校長が証明する場合を想定してい
ます。

3. 中学校等の長記入欄

上記申請理由が、事実と相違ない旨証明いたします。

学校名 _____ 立 _____ 中学校 校長名 _____ 令和 年 月 日 公印

担当者連絡先(電話番号) _____

様式 1

(注意)

1. 本申請書は、本試験終了後にすみやかに提出してください。

様式 2

令和 年 月 日

令和 8 年度都城工業高等専門学校入学者選抜
追試験受験申請書

独立行政法人 国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校長 殿

フリガナ
志願者 氏 名 _____
生年月日 ____ 年 ____ 月 ____ 日生 (____ 歳)
保護者 住 所 _____
氏 名 _____ 印
電 話 _____

追試験の受験を下記理由により申請します。

記

1. 受験番号 ※49- _____
 受験学科 _____ 学科

2. 医療機関記入欄
上記の者が、感染症に罹患し、学校保健安全法施行規則に基づく出席停止期間
は下記のとおりであることを証明いたします。

感染症の種類	☐ 新型コロナウイルス ☐ インフルエンザ（A 型・B 型） ☐ 風疹 ☐ 麻疹 ☐ 流行性耳下腺炎 ☐ 感染性胃腸炎 ☐ 水痘 ☐ 結核 ☐ 咽頭結膜熱 ☐ 百日咳 ☐ 急性出血性結膜炎 ☐ 流行性角結膜炎 ☐ その他の感染症（ _____ ）
初診日	令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日
出席停止期間	令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 ～ ____ 月 ____ 日

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日
医療機関名 _____
医師名 _____ 印

あて名票

(中 学 校 用)

□□□□-□□□□

(学 校 名)

(住 所)

中学校長 殿

※49-

・※印欄は記入しないでください。

(中 学 校 用)

□□□□-□□□□

(学 校 名)

(住 所)

中学校長 殿

※49-

(中 学 校 用)

□□□□-□□□□

(学 校 名)

(住 所)

中学校長 殿

※49-

(本人用)

・※印欄は記入しないでください。

49-❖

※49-

※49-

